

街道を歩く

中津川宿 (落合宿から一里)

木曾谷では天文年間の頃から宿制がしかれていた。その後慶長7年(1602)の伝馬制で宿として完成。町並み十町七間、東から茶屋坂、淀川町、新町、本町横町、下町からなりほぼ真中に本陣、脇本陣。町の京側に旅籠、茶屋、江戸側に商家があった。木曾路の入口として、江戸と京都の中間にあったため両方の文化が混ざり合い独特の文化土壌が形成され学問熱心な人が多く、また商人町として栄えた。寛文3年(1663)宿内の道の付け替え大改修が行われる。

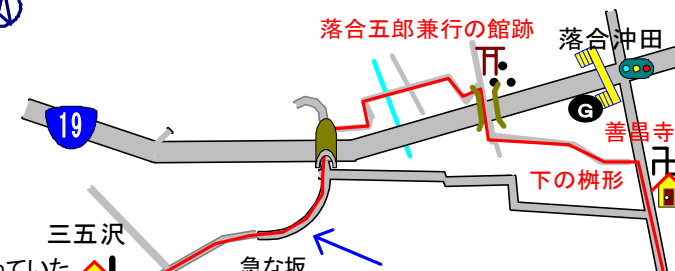
中山道: 落合宿—中津川宿



庄屋(肥田家)



越前屋 名物の三文餅を売っていた
与坂立場跡



落合五郎兼行の館跡

落合沖田

善昌寺

下の樹形

三五沢

急な坂

落合五郎兼行の館

木曾義仲の父 義賢は久寿2年(1155)源義平に殺される。このとき義仲は3歳、母に抱かれて木曾に逃れ、中原兼遠に匿われ育てられる。兼遠の3男が落合五郎で長じて義仲に仕えここに館を構えたと伝えられる。地元では「おがらん」で知られている



JR中津川駅

本陣
現在駐車場、市岡家その裏
本陣の欄間、古文書保存

脇本陣 森家、現在NTTの建物

十八家(間家)

白木家(横井家)

四ツ目川

前田青邨生誕の地碑

中津川宿

本陣跡

問屋脇本陣跡

栗きんとん"すや"

桂小五郎隠れ家跡

料亭"やけ山"

間家大正の蔵

天萬屋(古井家)

旧中川屋(杉本家)

常夜燈
(酒遊館)
江戸時代から続く
造り酒屋

式内恵奈山上道碑

高札場

庚申塔、常夜燈など

中津川高校
青い山脈の町地

白木番所跡

上金

旭ヶ丘公園

庚申塔、灯籠、芭蕉句碑

本陣市岡殷政(夜明け前モデル浅見景蔵)

問屋年寄間秀矩(夜明け前モデル蜂屋香蔵)

旅籠屋丸田屋、庄屋肥田九郎兵衛

(夜明け前モデル小野三郎兵衛)などの歌碑もある

一命石がある

子野川

子野石仏群

地蔵堂川

覚明神社

この子野

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

子野石仏群

子野一里塚

十八家(間家):
江戸中期の建物、上がり框や天井当時のまま。
和宮下向のときお供泊まる。
主人、平田派門人・間武右衛門

白木家(横井家):
天保13年(1842)に建てられ江戸時代の面影を残す。
4畳ほどの中二階は今も残る、外からは分からない仕組。

天萬家(古井家):
築後150年、格子、軒先の低さ当時の面影残す。
どの部屋にも明かりとりの天窓がある。
川に流れてきた神様の祠を建てたのが天萬屋の由来。

旧中川屋(杉本家)
中津川村、子野村の庄屋であった中川萬兵衛
の屋敷の一部、「青い山脈」の町が行われた

間家大正の蔵
従来の土蔵造りと近代工法の混在、市の有形文化財
江戸時代初期新町に移住、東濃随一の豪商、年寄役。
桂小五郎(木戸孝光)隠れ家
文久2年(1862)6月藩主毛利親頼の江戸からの帰りを待ち
密会(中津川会議)、「公武合体」から「尊王攘夷」へ
の転換を説く。

前田青邨生誕の地
乾物商の家に生まれ、日本画を志す、画家。

子野石仏群

子野一里塚

横町樹形

常夜燈、石仏群

脇本陣跡(NTTの建物)

平成12年9月30日

あきやま